

## 〈北〉でつながる世界 ノルウェー・スコットランド アーティストの喜多方滞在制作

ヨーロッパの「北」、ノルウェーとスコットランドから3人のアーティストが来日し、喜多方アーティスト インレジデンス事業により福島県会津地方に2か月間滞在しました。日本の北国、福島県出身のアーティスト丸山芳子氏と共に、北の文化の共通性や差異を意識しながら作品を制作しました。

4人のアーティスト達は喜多方市内の農家に民泊して地元の人との交流を深め、会津地方各地を訪問して伝承の行事や手仕事を体験しました。また原発事故の影響で住むことの出来なくなった県内沿岸地域を視察し、被災地域とそこからの避難者を受け入れている会津地方、双方の人びとの現状について理解を深めました。訪れた仮設住宅集会所では、スコットランドとノルウェーの暮らしや先住民族について紹介し、手づくりの郷土料理やお菓子を一緒に楽しむ催しや、避難している人達とのワークショップを行いました。

アーティスト達は、市内の空き民家で週に一度のミーティングを重ねながら作品を構想し、丸山氏が企画する展覧会、「精神の〈北〉へ」にゲスト・アーティストとして参加し、喜多方市の登録有形文化財に指定されている三十八間蔵でそれぞれの作品を発表しました。仮設住宅集会所でのワークショップで協働制作した作品や、人びとが去った被災地をカヤを用いて土間に表現した作品、雪国喜多方を独自の方法で表現した写真などが展示されました。会津地方の滞在と被災者との交流から生まれた作品は「芸術で福島を支えたい」というアーティストの試みとして地元でも高く評価されました。



伝統工芸の「ヒロロ縄ない」を体験した4人のアーティスト達。左からオース、(ひとりおいて)ハウグトゥロ、丸山、グリアスンの各氏

アーティスト滞在制作期間 2013年1月～3月 福島県喜多方市

共催 IORI倶楽部、はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

後援 福島県立博物館、FM喜多方、福島民報新聞社、福島民友新聞社

協力 NPO法人まちづくり喜多方、NPO法人喜多方グリーンツーリズムサポートセンター、喜多方蔵の会

### スー・グリアスン / Su Grierson

アーティスト。ビデオ、音、写真、コンピューターを使った作品を制作。英国・スコットランド出身。

### ヴィグディス・ハウグトゥロ / Vigdis Haugtro

アーティスト。彫刻、ドローイング、インスタレーションの作品を制作。ノルウェー出身。

### マルグレーテ・オース / Margrethe Aas

建築家。トロンハイム市にて景観設計や都市計画に携わる。ノルウェー出身。

### 丸山芳子

アーティスト。地域、場が持つ背景から生まれるインスタレーションや絵画を制作。福島県二本松市出身。

### アーティスト インレジデンス喜多方

蔵の街として知られる喜多方市で、使われなくなった蔵をアーティストによる滞在制作拠点と発表の場として利用している。



会津若松市河東学園仮設住宅集会所で行われたアーティストと仮設住宅に暮らす人達とのワークショップの様子

## 国内関係者の声

一緒に過ごすメンバーが変わることで見える世界が一変した。言葉を越えた相互理解にアートが良い仲立ちをしてくれました。

[アーティスト達を受け入れた、IORI倶楽部 金親丈史氏]

福島の今を伝えることができました。そして彼女らがそれを母国で伝えてくれることと思います。

[アーティストの受け入れに協力した、福島県立博物館 小林めぐみ氏]